

特定非営利活動法人

MAKE THE HEAVEN

2012年度 年次報告書

contents

- 代表挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 活動理念・目標・活動概要・・・・・・・・ 4
- MAKE THE HEAVENの足跡・・・・・・・・・・ 5
- 組織図・理事紹介・・・・・・・・・・・・・ 6
- 活動紹介
- * 東日本大震災復興支援プロジェクト
 [め組JAPAN]・・・・・・・・・・・・・・ 7
- * カンボジア自立支援プロジェクト
 [MAKE THE HEAVEN CAMBODIA]・・・・ 13
- * 植林・間伐プロジェクト
 [WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL]・・ 19
- * 北海道・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- * 啓発事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 物販紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 会員・募金一覧・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 会計報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34



東日本大震災復興支援プロジェクト



カンボジア自立支援プロジェクト



植林プロジェクト



啓発事業



北海道プロジェクト

代表あいさつ

いつも、MAKE THE HEAVENの活動を応援して下さい、また、現場で同志として動いて下さり、本当にありがとうございます。

2012年は東北での活動はおかげさまで皆様に支えられ、ボランティア中心から地域の自治会やお母さん達中心への活動へと移行していきました。

今後の東北での活動は、がれきを使った緑の防波堤を作りたいという宮脇昭先生の情熱に賛同した植林活動の準備の為に苗を育てたり、津波に飲み込まれた小さな村を復興させたいという一人の元教員の夢サポートとして、その村の森の手入れなど、引き続き被災地に寄り添った支援を担当させていただきます。

カンボジアではすくすく育てられているくっくま孤児院の運営を中心に活動し、2004年から続けてきた井戸掘り支援は、850基以上の井戸をカンボジアに届けることができました。

WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL（以下ワンフェス）の中国植林活動もまーちゃんバンドのまーちゃんや、元スタッフのマサやなべちゃんなど、仲間たちが情熱を注いで活動を続けてくれたおかげで、なんと沙漠の一部が森に近づいてきました。沙漠が森になってゆく表情はぜひ、ワンフェスのHPからご覧下さい。



**この世に変わらないものはない。
今できることをやり続ければ
必ず変わる。**

東北の時に強く感じたのはメンタルの大切さ。今年も世界のコーチャー、アンソニーロビンスのワークショップに参加して、ワークショップやアホで良し学園という塾などで学んだことをお伝えさせて頂き、なんと全国でうつ病の薬が減っていたり、ガンの腫瘍が消えた人まで出て来ました。

こういった活動をしながら、本当に同じ事を感じます。それは、この世に変わらないものはない。今できることをやり続ければ必ず変わるということ。これからもぜひ一緒に現場に来れる人は来てやって下さい。

2013年のMAKE THE HEAVENもぜひ応援して下さい。

MAKE THE HEAVEN 代表
てんつくマンこと 軌保博光



MAKE THE HEAVEN

理念

「思うだけでなく、考えるだけでなく、語るだけでなく、祈るだけでなく、動けば変わる」を合言葉に、笑い楽しみながら活動します。

目標

MAKE THE HEAVEN の目標は、

世界中の子供達の笑顔を増やす事、森を増やして当たり前前に雨が降る地球を残す事、そして、一人でも多くの人の心の中に元気や希望が増えるきっかけを創る事です。

「一人の力は小さいかもしれない。しかし決して無力ではない」という思いから、みんなの「はじめの一步」をサポートし、行動する人を増やす事によって、誰かが誰かの為に動き出すのが当たり前になる世の中を創り、地球に「緑」と「笑顔」と「希望」を増やしていきます。いろんな活動を、正義感でやるのではなく、笑い楽しみながら行動する事で「いつのまにか誰かの為になっていた」そんな新しい常識を創りながら、一人でも多くの人の心の中に希望の明かりを灯していきます。

活動概要

MAKE THE HEAVEN は、未来への希望を増やすために 2012 年も「笑い楽しみながら」をモットーに活動しました。

■ 東日本大震災復興支援プロジェクト「め組JAPAN」

宮城県石巻市近郊で、東北に笑顔を届けるために、人と人との繋がりを大切に寄り添い活動を行いました。

■ カンボジア支援プロジェクト「MAKE THE HEAVEN CAMBODIA」

カンボジアへの支援を通して、カンボジアと日本の心を繋ぎ、笑顔が増えるための支援を行いました。

■ 植林・間伐プロジェクト「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL」

「緑」と「希望」いっぱいの地球を未来の子供達に届けるために、国境も年齢も性別も超え、皆で力を合わせて植林や森の手入れを実践しました。

■ 北海道プロジェクト

北海道の広大な自然に囲まれた中で、心も身体も元気になる農業やイベント、本部事務所活動を行いました。

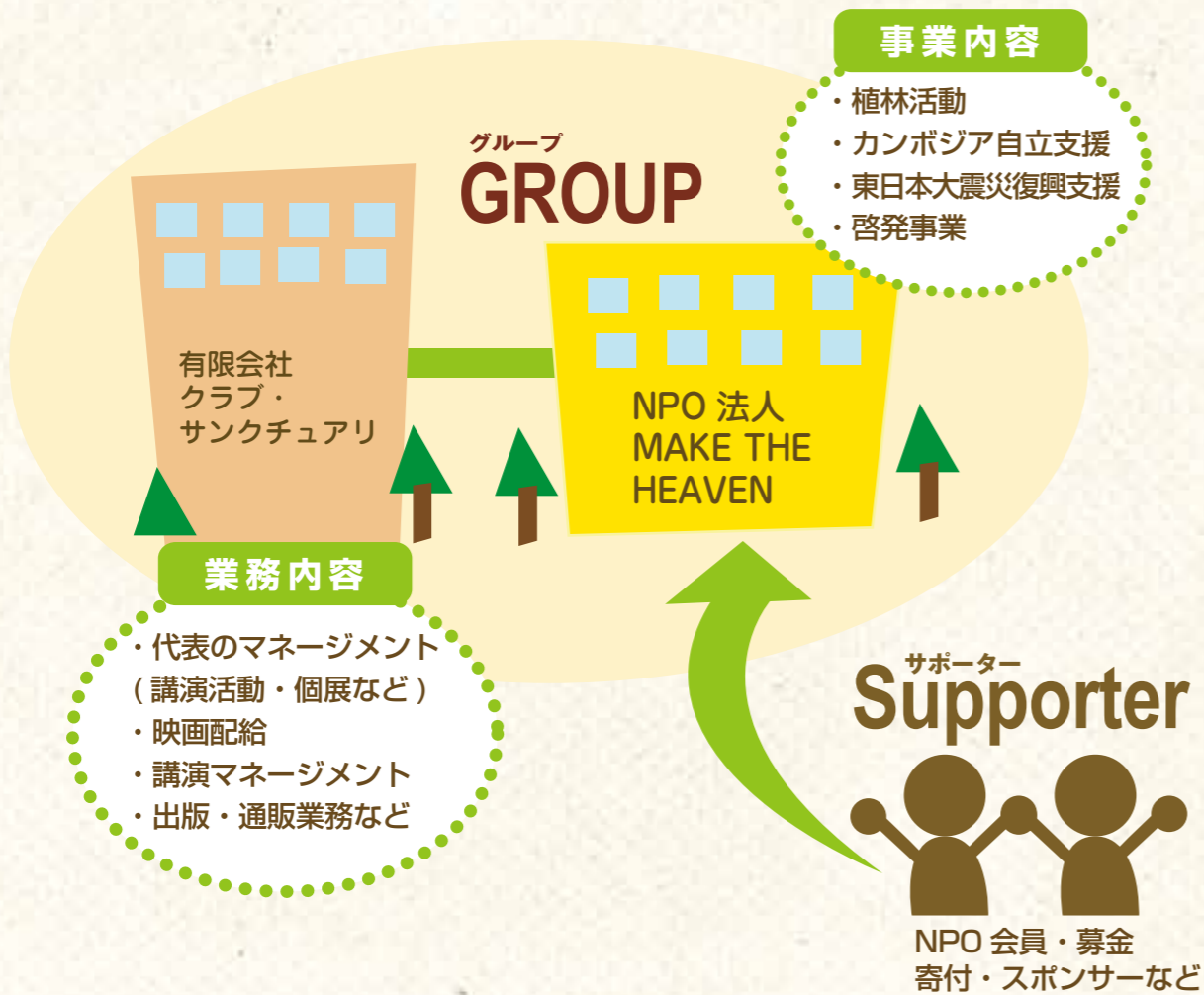
■ 啓発事業

一人でも多くの人に、笑い楽しみ感動しながらはじめの一步を踏み出してもらうために、音楽や映像制作、ライブ、ツアー、イベントなどを行いました。

足あと

- 2004年4月 NGO MAKE THE HEAVEN 設立 *環境問題や海外支援に取り組んだ事をきっかけとして、世界の子供達の笑顔を増やしたいという熱い思いを持った仲間が集り、NGO MAKE THE HEAVEN が誕生しました。
- 2004年3月 カンボジア井戸掘り支援スタート *2012年までに、857基の井戸を届ける事が出来ました。
- 2005年4月 植林プロジェクト発足。第1回中国内モンゴル植林ツアー開催 *2012年までに、中国内モンゴル、ブラジル、南アフリカの3ヶ国と、和歌山、熊本で計14回の植林ツアーを行い、延べ2,128人に参加頂き、植林本数は48万本を超えました。
(2011年の報告書で延べ2,195人となっていました。正しくは2,104名の間違いでした。この場を借りて訂正させていただきます。)
- 2005年11月 カンボジア支援プロジェクト発足 *プノンペンに事務局を設立し、カンボジアの子供達へ奨学金を贈る教育里親支援をスタート。2012年までに、3,429人の子供達が学校に通えるようになりました。
- 2006年1月 小豆島にて、げんきのたねまきプロジェクト発足 *2011年5月末を持って、6年間の活動を終了しました。2011年までに、延べ1万人以上の方が参加してくれました。
- 2008年11月 植林プロジェクトを「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL」と名付け、一元募金プロジェクトを開始 *2012年までに、857名(チーム)の一元ヒーローが誕生しました。
- 2009年11月 当法人理事長が監督を務めるドキュメンタリー映画「107+1 ~天国はつくるもの~ Part2」が完成及び公開 *2012年まで、パート1と合わせて自主上映による観客動員数が21万人を突破しました。*配給は有限会社クラブ・サンクチュアリ
- 2010年4月 間伐プロジェクト開始 *2012年までに静岡、山梨、熊本、奈良で計6回間伐ツアーを行い、延べ316人に参加頂き、673本のスギ、ヒノキを間伐しました。
- 2010年5月 ロックバンドおかんと専属事務所契約
- 2010年8月 NGO から香川県の認定非営利活動法人(NPO 法人)に認定登録
- 2011年3月 東日本大震災復興支援プロジェクト「め組 JAPAN」発足 *2012年までに延べ20,000名以上のお手伝いクルー(ボランティア)が参加してくれました。
- 2011年5月 NPO 法人 MAKE THE HEAVEN 本部事務所を北海道に移転
- 2011年6月 送電線国有化のための署名募集開始 *2012年10月までに179820名分の署名を頂き、経済産業省に届けました。
- 2011年8月 洞爺バケーション開催 *2011年、2012年にそれぞれ1回ずつ開催し、延べ323名の親子が参加してくれました。
- 2012年1月 森の長城プロジェクト開始(WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL とめ組 JAPAN の共同企画) *9月にプロジェクト名を希望の森もり大作~東北植林編~と名付け、ビニールハウスで2万粒以上の種を育成開始
- 2012年10月 め組 JAPAN の生活自立支援「おだってばりい」が開業届けを提出し独立
- 2013年4月 ロックバンドおかさんが大阪城ホールで単独公演を開催





MAKE THE HEAVEN 役員名簿

理事長	軌保 博光	有限会社クラブ・サンクチュアリ代表取締役
理事	中村 文昭	有限会社クロフネカンパニー代表取締役
理事	大嶋 啓介	有限会社てっぺん代表取締役
理事	奥芝 洋介	株式会社NEXT LEVEL 代表取締役
理事	松岡 宏樹	株式会社俺ん家のめし代表取締役
理事	川島 肇子	特定非営利活動法人MAKE THE HEAVEN 副理事長
理事	椛島 実	有限会社クラブ・サンクチュアリ取締役営業本部長
理事	植木 宏	特定非営利活動法人MAKE THE HEAVEN
理事	二瓶 勇樹	特定非営利活動法人MAKE THE HEAVEN
監事	二瓶 明	サンクチュアリグループ監査役・統括経理

め組 JAPAN

東日本大震災復興
支援プロジェクト

活動概況

2011年3月11日の東日本大震災を受け、全国から過去に3度結成された緊急災害復興支援チーム「め組」の再結成を望む声を頂き、東日本大震災復興支援チーム「め組 JAPAN」を発足しました。当プロジェクトは、震災当初から宮城県石巻市に入り、状況に応じて刻々と変わっていく現地の方々のニーズに合わせて支援を続けています。

め組 JAPAN の活動で大切にしていることは「つながり」です。2011年に比べ、復興支援団体の数も、ボランティア人口も減少しました。その分、地域とのつながり、行政とのつながり、他団体とのつながり、自然とのつながりを大事にしながら復興支援活動を行っています。

2012年に入り、め組 JAPAN では活動内容を本当に必要とされているものだけに絞り、これまでボランティアが主体となっていた活動のの一つ一つを、地元の方々が主体となって動けるようにサポートしました。



足あと

- 2011年3月14日 め組JAPAN 発足
- 2011年3月16日 先発隊が宮城県石巻市に到着し物資配給や炊き出し、泥出し、ボランティアの受け入れなどの支援活動を順次開始
- 2011年3月20日 石巻災害復興支援協議会(旧:石巻支援連絡会)に加入
- 2011年5月 希望の種まきイベント「SEED'S OF HOPE」を開催
- 2011年6月 子供達への支援や仮設住宅訪問など、寄り添い活動開始
- 2011年7月 被災地家族の疎開プロジェクト「洞爺バケーション」開催
- 2012年3月11日 追悼式典「祈りの灯り希望の灯り」、尾崎の慰霊祭の運営サポート
- 2012年4月 南浜ひまわりプロジェクト開始
- 2012年7月 九州北部災害を受け、熊本県阿蘇市で支援活動開始(3週間活動)
- 2012年8月 近畿地方豪雨災害を受け、宇治市内で復旧活動を開始。(4日間活動)
- 2012年8月 「森の防潮堤プロジェクト」に使うタブノキの種を牡鹿網地島で子供達と一緒に拾う
- 2012年10月 おだってばりいで、開業届提出
- 2012年12月 全国、世界各地から届いた795枚のクリスマスカードを仮設住宅、在宅へお届け
- 2013年3月31日 活動の中心を寄り添い支援と、WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL との共同企画「希望の森もり大作戦～東北植林編～」に移行(詳細は21ページを参照)

寄り添い活動活動

め組 JAPAN は、震災当初に泥出しをさせて頂いたお宅や、これまでに出会った住民さんとのご縁を大切にしながら、被災された方々への寄り添い活動を行ってきました。仮設住宅の集会所を利用したイベントや、お茶会を開いて住民さん同士が互いに知り合い繋がる場を提供しました。また、健康講座や物作りを通して、保健福祉課・介護包括・社協の支援員さんたちとも連携をとりながら行政や地元の団体と力を合わせてより細やかな支援ができました。寄り添い活動を通じて、ボランティアも一緒に交流を深め、住民さんも自分たちの子供や孫のような気持ちで接してくれて、訪ねて来るのを楽しみに待っていてくださる方も増えました。



子供支援

め組 JAPAN は、震災で遊び場がなくなってしまった子供達のために、地元の方と協力しながら遊び場づくりを行い、子供達が元気で遊べる環境作りのお手伝いをしています。2012年は、遊び場を通して子供達だけでなく、保護者や地域住民のコミュニティーづくりも目指し、石巻市渡波黄金浜地区でのあそび場づくり、被災し閉鎖されている湊小学校や仮設住宅への遊び場の出前、長野県でエコキャンプ、震災前から地元のお母ちゃん達が行っていた絵本の読み聞かせボランティア「おはなしの会」のサポート等を中心に活動しました。め組 JAPAN が作った遊び場は今、新たに越してきた人や、家を直して戻ってきた人たちが繋がったり、再会するきっかけの場となっています。また、継続して遊び場を開催し続けてきたため、子供達が集まって遊ぶ場所として定着してきています。他にも、「わらすこ会」という子供会の立ち上げを地域住民と共に行ったり、石巻市教育委員会と連携して、石巻ジュニアリーダー「げろっば」の中高生と一緒に活動をしたりしています。2013年1月からは、め組 JAPAN の長期お手伝いクルーとして活動していた仲間たちが「こども∞感ばにー」という団体を作って活動を引き継ぎ、継続して子供支援を続けています。

※こども∞感ばにー
<http://codo-pany.jimdo.com/>



生活自立支援

2011年7月から始まった「お茶っこの作り」は、コミュニティが希薄になってしまった地域や、まわりに娯楽のない仮設住宅のお母ちゃん達を対象に、針仕事をしながらおしゃべりして楽しい時間を過ごすために、2年間で300回以上開催してきました。家族を亡くされた方、家や仕事を失った方、様々な境遇のお母ちゃんが集まって、たわいもない話をするのが何より楽しいと、みんなで笑い楽しみながら、もの作りをしています。「お茶っこの作り」に参加しているお母ちゃん達から「おだってばりいで」（宮城弁で「ぶざけてばかりいて」という意味）というチームができ、全国から東北支援のために思いを込めて送ってくれたタオルが物資庫にたくさん眠っていて、それを無駄にしないで、商品にしようと「こまっちゃぐれタオル」が生まれました。一針一針心を込めて縫ったタオルは、形を変えて全国の皆さんのもとに里帰りしています。2012年10月には開業届を出し、め組 JAPAN から独立しました。2年間の売上枚数：4465枚、作り手の母ちゃん：20名
※おだってばりいで：<http://www.odatte.jp/>



石巻復旧支援活動

め組 JAPAN 発足当初から民家の泥出しや瓦礫撤去などの現場作業を中心に活動してきたチームです。震災から1年が経つと、泥出しや家具出し等の力作業のニーズも少なくなり、畑の再生や花植え、復興応援イベントのサポートなど、その都度現地で必要とされる支援を行ってきました。またただ単に労働力として自分たちだけで活動するのではなく、被災者の皆さんと一緒に活動することを大事にしてきました。全国から参加してくれたお手伝いクルーの中には、石巻に住み込んだり、石巻を離れてからも住民さんと連絡を取り合ったり、何度も東北に行き来したりと、家族のような付き合いが続いているメンバーもいます。

その他の活動

め組 JAPAN ではその他にも、お庭の再生を通して住民の方に元気になってもらう「レインボーフラワープロジェクト」を行ったり、お手伝いクルーとして参加した様々なアーティストをアテンドし、そのパフォーマンスを披露してもらったりして、たくさんの方に喜んで頂きました。また、被災地の現状や、め組 JAPAN の活動を伝えるために、全国各地で報告会を開催しました。そして、冬には、日本全国・世界各地から集まった795枚のクリスマスカードを住民の方々へお届けし、復興応援イベントや地元行事のお手伝いなどにも参加し、様々な活動を行いました。また、7月に九州地方、8月に近畿地方を襲った記録的大雨による豪雨災害では、救援チームを立ち上げ現地に入り復旧活動を行いました。

南浜ひまわりプロジェクト

「あの町の前を通るたびに悲しい気持ちになる」。そんな地元の方々の声を受け、津波で壊滅的な被害を被った、石巻市南浜町の自宅跡地にひまわりを植える「南浜ひまわりプロジェクト」が始まり、130軒のお宅にひまわりを植えさせて頂きました。はじめは、種を植えても、冠水や塩害、油の混ざった土などの影響でなかなか芽が出ませんでした。住民の方々やお手伝いクルーが力を合わせて思いを込めてお世話を続けた結果、2012年の夏にたくさんのひまわりを南浜町に咲かせることができました。



南浜 林雄輔様宅ひまわり



南浜 菊池様宅ひまわり



南浜 阿部文雄様宅ひまわり



南浜 土井様宅ひまわり



南浜 伊藤様宅ひまわり



南浜 どこかのお家のひまわり



南浜 菊池様宅ひまわり

真夏の向日葵。宮城県の空の下、元気に咲きほこりました。

**め組JAPAN 2012年
クルー（ボランティア）の人数**

1月：416名	7月：804名
2月：778名	8月：679名
3月：1213名	9月：669名
4月：666名	10月：490名
5月：648名	11月：302名
6月：726名	12月：195名

合計：7208名
2011年、2012年の累計：約20546名



※プロジェクト発足当初は、現地の通信・交通・生活環境・余農などの理由で、受け入れの中断や延期、活動の変更や休止があったため、2011年3、4月の人数が若干の誤差がありますので、2011年と2012年の累計人数は若干の誤差があります。

20代 男性

僕は、4月から8月の5ヵ月間め組 JAPAN お手伝いクルーに参加しました。復興へ向かう道のりの一步一步に関わる事ができ、とても有難かったです。僕に何ができたかは分かりませんが、また石巻に帰りたい気持ちは今も残っています。活動の中で出会った、僕を息子や孫のように想ってくれるお父ちゃんやお母ちゃんに子供達、同じ目的を目指し一緒に活動してきた仲間達、本当に会いたい。地元に戻った僕ができる事、それは被災地で見て感じた事、その現状を伝える事だと思います。それがめ組 JAPAN から「行ってきます！」と出発したクルーの役割だと思います。みんな愛してるよ～！

40代 男性

め組 JAPAN のボランティアに参加することで、若い力が自ら行動を起こして行く姿を見ることが出来ました。社会へ貢献するだけでなく、被災された方との交流や若者達との交友は意義深いものを頂けました。若者にとっても何事にも代えられない貴重な経験であったことでしょう。ボランティアに参加したことを忘れない気持ちが「被災地」「被災者」を忘れ去らないことだと思います。これからも、共に頑張りましょう。



被災地の方々の声

*男性 A さん：その節はお世話になりました。庭に置いていた瓦礫を道路に出し、重い量を空き地まで運び、床下の泥を撤去して頂いたり、大変な作業をして頂き本当に有難うございました。当初は、あの瓦礫を目の前に、片づけられるか不安でしたが、皆様の助けを頂きどんなに心強く思ったことでしょう。心から感謝いたします。おかげさまでリフォームも無事に終わり、新しい畳の上で新年を迎えることができました。近所では家々の解体が進み、家屋がボツリボツリと残っている状態です。それでも、コンビニが再開し、工場も営業を再開されています。徐々にですが、確かに一歩一歩、前進しているような気がします。

*女性 S さん：ある日の午後、お帰りになられるボランティアの方とお仲間の方がお話し、握手されている所を通りがけの車から目にしました。お世話になった私たちが御礼し感謝しなければならないのに…申し訳ないのと有難さでいっぱいです。クルーの皆さまの想いをブログで拝見いたしました。震災直後の信じられない光景も徐々に復旧している事、歩みはどうであってもそこには人の手、ひとの知恵、ひとの優しさ、ひとの動きが関わっていることで、私たち人間、日本人としての誇りを捨てずに生きていられるのだと思います。本当はそれぞれのふるさとでのお仕事や役割もおありでしょうに有難うございます。皆様の優しさ、思いやりに感謝です。

MAKE THE HEAVEN CAMBODIA

カンボジア支援 プロジェクト



今カンボジアでは、首都プノンペン等を中心に目覚ましい経済成長をしている一方で、学校や井戸の不足、貧富の差の拡大等により、雇用を得るために必要な「教育」が受けられない子供達がたくさんいます。

当プロジェクトは、お預かりしている支援金がどんな笑顔に変わっているのか「見える支援」を大切にしながら、教育支援やスラムや孤児院の自立支援等を通して、子供達の人生の選択肢が増え、日本にもカンボジアにもたくさんの笑顔が増えるきっかけを創り、お互いに成長していける活動をしています。

2012 年度もたくさんのご支援を頂き、各プロジェクトを遂行出来ました。また、たくさんの日本人がカンボジアを訪れ、子供達のキラキラな笑顔に出逢って一緒に楽しく交流する事で、日本にもカンボジアにもたくさんの笑顔を増やす事が出来ました。

足あと

- 2004年 バサックスラム支援開始
- 2004年 スタディツアー開催
計20回のツアーを行い、延べ453人に参加頂きました。(2012年までの統計)
- 2004年 井戸支援開始
857基の井戸を掘りました。(2012年までの統計)
- 2005年 奨学金制度ババママ支援開始
3,429名の子供を支援しました。(2012年までの統計)
- 2005年 第1回ジャパンツアー開催
計4回のツアーを行いました。(2012年までの統計)
- 2005年11月 カンボジアにプノンペン事務所設立
- 2006年3月 プレイクラン村に学校を建築し、開校式を実施
- 2006年6月 バサックスラム移転時の緊急支援実施
- 2007年10月 第1回ババママツアー開催
2回行い、延べ32人に参加して頂きました。(2012年までの統計)
- 2007年12月 クロサン村に学校を建築し、開校式を実施
- 2008年 クラチェ地方に溜め池完成
- 2009年 バサックスラム幼稚園建築
- 2010年公立小学校1校建築・プレイクラン村の学校改築
- 2011年 くっくま孤児院運営開始・孤児院引越し
- 2011年 公立小学校1校建築
- 2012年 第2回くっくまツアー&親子ツアー開催
延べ68人に参加頂きました。(2012年までの統計)
- 2012年 公立小学校2校を建築し、開校式を実施

MAKE THE HEAVEN CAMBODIA

カンボジア支援プロジェクト 2012年事業報告

■ プノンペン市内・プノンペン近郊での支援

プノンペン市内の急速な経済発展により、貧富の差が激しくなり、生活が厳しい子や学校に通う事が困難な子供達がまだまだ沢山います。孤児院の運営、奨学金制度、スラムと他孤児院の支援、ごみ山の小学校へのお米支援等、プノンペンでは主に子供に笑顔が増えるサポートをしています。

くっくま孤児院運営

2009年から、カンボジアの孤児院で育った踊りの先生たちが、かつての自分たちと同じ境遇の孤児の子供達を集めて孤児院を始めましたが、当時24人いた子供達の食費を捻出する事も困難になり、孤児院解散の窮地に追い込まれていました。そこで、踊りの先生たちの頑張りを応援したい、素直で元気いっぱいの子供達を応援したいと思い、2011年から、MAKE THE HEAVEN CAMBODIAの孤児院として、先生たちと共同運営を開始しました。いろんな環境で育ってきた子供達は、くっくま孤児院で、毎日ご飯が食べられ、毎日水浴びが出来て、毎日学校に通って、毎日寝る場所がある。そんな当たり前の事に心から幸せを感じ、日々笑顔で楽しく生活しています。その笑顔は、施設を訪れたみんなを幸せにしてくれています。現在は23人の子供達と、踊りの先生3人とスタッフ5人が、一緒に生活しています。元気な素直で優しい子供達と、その子供達を愛して一生懸命運営しているカンボジアの大人たち、ここには素敵な笑顔が溢れています。2011年からは、くっくまファミリーの各サポートコースをスタートして、毎月の食費や生活全般・教育の支援を行っている他、スタッフや子供達で作る箸袋（フェアトレード商品・2012年は500枚）や手作りのアクセサリーを日本で販売し、自分たちの力でも孤児院を運営出来るようにサポートしています。また、2011年11月には、多くのご支援を頂いて新しい土地と建物に移転し、自給自足を目標として庭で子供達が野菜やニワトリを育てています。2012年はソーラーパネルの設置を行いました。2013年も子供達を応援する家族を増やしていきます。

※くっくま孤児院の正式名称：CCMHA (Cambodia's Children Make the heaven Association) 孤児院



■ くっくま孤児院運営費内容

運営費：毎月約2,000\$

内訳：土地レンタル代500\$・お米450キロ・おかず&調味料600\$・学校費用(試験代・英語学校など)150\$・スタッフ給料(踊りの先生・調理スタッフ)・病院代・洋服や制服等の衣類・伝統舞踊の楽器や衣装・歯ブラシやせっけん等の生活用品・文房具等

※水道・電気代は、子供達がカンボジアの伝統舞踊を踊って頂いた募金で支払っています。

パパママ大作戦！奨学金制度

2005年の13人からスタートしたパパママ大作戦は、2012年で8年目を迎え、パパママの皆様のおかげで、プノンペン市内&近郊の貧困家庭の子供達の学校に通いたいという夢が叶えられ、安心して勉強を続ける事が出来ています。奨学生の写真付報告書や、本人からの手紙のお届け等、日本のパパママとカンボジアの我が子が繋がりを、家族のような温かい心の交流が出来るようにお手伝いをさせて頂いています。また、新学年がスタートする10月にはパパママが出席出来る認証式を行っている他、パパママがカンボジアを訪ねてきてくれた際には、いつでもわが子に会う事が出来るようにコーディネートを行っています。2012年度は、継続も合わせて562人の子供達が奨学金で学校に通う事が出来ました。



バスックスラム支援

カンボジアを支援をするきっかけとなったのが、バスックスラムとの出会いでした。バスックスラムには2005年から毎月支援を行っており、寺子屋の毎月の食費(米米マン・おかずマン)や、運営する先生方のお給料、幼稚園の校舎設立、伝統舞踊の衣装や化粧品等の支援等を行った他、緊急時の医療費等のサポートも必要時に行いました。子供達は、スラム内のごみ拾いをしたり、伝統舞踊の練習をしたり、日々自分たち出来ることを精いっぱい頑張っています。

■米米マン・おかずマン 共に、毎月20,000円ずつの支援をしています。



NCCLA孤児院支援

プノンペン市内にあるNCCLA孤児院を運営している夫妻との出逢いを、私たちカンボジアスタッフは奇跡と呼んでいます。素晴らしい2人から色々な事を学びながら、定期的に物資を送ったり、スタディツアーの際に夫婦が運営するレストランやクッキー屋さんを訪れたりする事で、子供たちへの支援と交流を続けています。2012年のホワイトデーの時期にはこのクッキーをMAKE THE HEAVENの通販で販売しました。さらに、2012年NCCLA孤児院の子供達の中から5人が高校を卒業し、大学応援基金によって進学することが出来ました。今後も共に、成長していきたいと思えます。



ごみ山の小学校へのお米支援 日本からの物資支援

スタメンチャイ地区にある、今はもう使われなくなったごみ山の中に小学校があります。2012年も、そこへ通う子供達に、毎月お米を1人5キロずつ、合計で1,500キロ分のお米を支援しました。今後も、家族みんなが幸せになる支援を今後も続けていきます。また、スタディツアーの際に日本から支援物資をお預かりし、古着や文房具等を各支援先の子供達へ渡しています。

■プノンペン近郊&プレイヴェン州プレイクラン村での支援

村支援で最重要課題が、「自立支援」に向けての取り組みです。はじめの一步をお手伝いする気持ちで、学校建築や井戸掘りやフェアトレード商品の作成等を、村の人たちと協力し合い、共に勉強を重ねながら支援しています。

学校建築事業

2012年、公立の小学校を2校建築し、開校式を行いました。カンボジアでは、国の経済の発展と共に、教育にも力を入れ始めています。その為プノンペン市内を中心に、私立学校や塾がどんどん出来ており、ある程度家族の収入が安定している子供達はしっかり勉強できる環境が整ってきています。しかし、地方では、学校に通いたくても通えない子供達がまだまだ沢山います。学校や、教室が足りず、青空教室のような環境で勉強している子供達もいます。学校で勉強が出来ること、学校で友達と一緒にのびのびと遊べる事が、どれだけ幸せで楽しいことなのかを、カンボジアの子供達は伝えてくれます。私たちは、文部科学省から依頼のあった場所を実際に視察して、学校の先生たちとミーティングをして学校建築の場所を決定していきます。2013年は5校の建築を目標に活動していきます。



まいど大作戦！井戸掘り支援事業

2012年、個人、会社、お店、ボランティア団体の他、結婚式の引き出物等で募金して下さる方や、小・中学校の子供達等、様々な方に井戸掘り支援をして頂き、新たに161基の井戸（水質調査含む）を掘る事が出来ました。これまで貧しい農村地では、綺麗な水を使えなかったり、遠くから水を運んで来たりしていました。井戸が出来た家族は本当に喜んでくれて、子供達も服を着たまま水浴びをして楽しんでくれています。なによりも、重労働である水運びから開放されて、子供達が学校に通えるようになったり、畑を作れたりと生活自体が大きく変わっています。また、スタディツアーや村へのホームステイをする際には、井戸掘りを日程に組み入れており、水の出た喜びと一緒に分かち合える貴重な体験が出来ます。2013年は、井戸掘り募集を停止し、今まで掘った井戸のヒ素を中心とした水質検査を再度行い、基準値をクリアした安全な水を提供出来るよう、メンテナンスを中心とした支援を行っていきます。



プレイクラン村支援

プレイクラン村を始めて訪れた際に、子供達が民家の軒下でぎゅうぎゅうになって勉強している寺子屋と出会った事をきっかけにして、2006年にプレイクラン村に村人の手作りで3教室の校舎を建築しました。基本的に幼稚園～小学校3年生レベルまでの子が通い、4年生からは公立の小学校に通っています。2010年には、支援によって校舎の建替えを行い、レンガやコンクリートで建てられた校舎が完成しました。2011年からは、毎月7回、学校の子供達におかゆ給食を提供しています。そしてスタディツアーなどで村にウルルン滞在した方々からの募金を中心に、子供達に制服をプレゼントしました。2012年は、2010年に続き2度目の制服支給を行い、新品のブラウスを着て子供達は大喜びでした。また、定期的に文房具等の支援も行っています。



フェアトレード

2012年は、プレイクラン村のお母さんたちが、フェアトレード商品として「箸袋」を500枚作り、日本で販売しました。お母さんたちの生活費補填になる他、学校の先生たちのお給料も生み出せています。今後も、村全体の自立に向けて、村人たちの努力に協力する形で新商品開発をしていきます。

スタディツアー&現地コーディネーター
&日本語教師インターン

これまで、2004年から延べ20回のスタディツアーを行いました。2012年は2回開催し、沢山の方がカンボジアに来て、各施設の子供達との交流や、村でのホームステイ、井戸掘り体験等を行いました。カンボジアの子供達と一緒に生活する事で、今を一生懸命生きる子供達の笑顔に癒され、刺激をもらい、最終日には何人もの参加者さんが涙を流して帰っていきます。スタディツアー以外にも、くっくまツアーや親子ツアー、友人を連れ立ってのミニツアーや、個人旅行の延長でのカンボジア訪問等のコーディネーターも随時行い、学生さんの卒業旅行や、会社での社員旅行にも利用して頂きました。また、日本語教師のボランティアが子供達へ日本語教室を開催したり、美容師さんが青空カットをしてくれたり、似顔絵を書いてくれたりする等、訪問者の特技を活かし、カンボジアの子供達も喜ぶ交流を行いました。



20代 女性

「参加してよかった！」この一言です。何となく興味があって、タイミングもあって、というきっかけでしたが、毎日が感動の連続でした。カンボジアの子供達の優しさや強さに触れることが出来て、自分も何か出来ることをしたいという前向きなエネルギーを充電することが出来ました。今回のツアーに参加しなければ、痛ましい歴史について知ることがなかったとも思いました。

10代 女性

最初から最後まですべてが、楽しくて感動いっぱい、あっという間に過ぎてしまいました。愛いっぱいありがとうございました。子供達もスタッフの方々もとても優しく温かく、とっても幸せな日々でした。子供達が一生懸命踊りを見せてくれて本当にすごく感動しました。どうしてあんなにキラキラなんだろう。どうしてあんなにみんな優しいんだろう。ステキすぎてずっと子供達といれたら幸せだろうな～と思いました。



30代 男性

確実に言えるのは、「行けて良かった！」の一言ですね。このツアーで出会ったステキな子供達が生きてくれて、心からよかったです。出逢う子供達や大人達が本当に一生懸命で、ひたむきに愛情たっぷり、何かのカタチでこれからも関わってほしい、一人の大人として、何かの応援をしていきたいと心から思いました。そう思える、最高の出会いのつまったこのツアーに心から感謝です！

WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL 植林・間伐プロジェクト

今世界中で気候の変化により雨が減っています。人間がこのままの生活を続けた場合、更に雨が減って、食糧生産量は減り、食糧危機が起こり、結果、水の奪い合いの戦争が起こると予想されています。これからは、人々が競いあったり奪いあったりするのではなく、心を一つにして力を合わせる時だと思えます。

当プロジェクトは、「緑」と「希望」いっぱいの地球を未来の子供達に届けるために、国境も年齢も性別も超えてみんなで力を合わせ、地球に一本でも多くの木を増やす活動、一本でも多くの自然林を守る活動、そして、一人でも多くの環境意識を高めて動き出す人を増やす活動をしています。

東日本大震災を受けて1年間の活動を休止しましたが、2012年から活動を再開し、5月に静岡間伐ツアー・9月に内モンゴル植林ツアーを開催しました。また、横浜大学名誉教授 宮脇昭氏の提唱する「瓦礫を使った森の長城プロジェクト」に感動・賛同し、2012年1月から「森の防潮堤」を作る植林のために、宮城県で広葉樹の育苗をスタートしました。



足あと

- 2005年4月 第1回中国内モンゴル植林ツアー
毎年4月(2009年まで)、2010年は4月と9月、2012年は9月にそれぞれ開催し、計8回開催しました。(2012年までの統計)
- 2008年11月 植林事務局をWONDERFUL 植林FESTIVALと命名し、新たに事務局を設置。同時に一円募金プロジェクト開始
一円ヒーローが857名となりました。(2012年までの統計)
- 2009年6月 第1回ブラジル植林ツアー開催
- 2009年8月 第1回南アフリカ植林ツアー開催
(第2回を2010年11月に開催しました。)
- 2010年3月 国内植林ツアー開催
和歌山植林ツアー(2010年3月、2011年2月)、1000人の熊本植林を開催しました。(2010年10月)
- 2010年4月 国内間伐ツアー開催
静岡、熊本、奈良にて合計6回の間伐ツアーを開催しました。(2012年までの統計)
- 2010年4月 中国内モンゴルに植林駐在員誕生
毎年春から秋にかけて駐在し中国内モンゴルで植林や水やりなどをしました。
- 2012年1月 東北植林の準備開始
9月に希望の森モリ大作戦～東北植林編～と名付け、スポンサーや苗木育成の募集を開始しました。
- 2012年5月 静岡間伐ツアーを開催
- 2012年9月 内モンゴル植林ツアーを開催

■ 植林プロジェクト概要

どうしたら当たり前前に雨が降る地球を未来の子供達に残せるのだろうか？その答えの一つが植林でした。木を植えると、雲が出来て雨が降ります。そこで、2005年に第1回中国内モンゴル植林ツアーを開催しました。そして、2008年には「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL（以下ワンフェス）」と名付けて、新たに事務局を設置し、「一円玉で世界を緑だらけにしちゃおう大作戦」を開始しました。2012年は、一円募金活動の他、中国内モンゴルの駐在員の支援、内モンゴルでの植林ツアーを行いました。また、東日本大震災の津波で被害のあった福島県から青森県の沿岸部に森の防潮堤を創りたいという想いで、東北で広葉樹の苗木を育て始めました。

一円募金～一円玉で世界を緑だらけにしちゃおう大作戦～

ワンフェスでは、苗木代として日本で一番小さなお金の一円玉を集めています。一円募金を通して、「一人ひとりの力は微力でも決して無力ではない」、「みんなで力を合わせれば、大きな力に変わる」という事を伝えています。そして、一円玉を見るたびに「これでまた緑が増える！」という「一円玉＝緑」の意識をまずは日本から広めています。また、一人のヒーローが世界を救うのではなく、一人ひとりが世界を変えるヒーローになろう！という想いから、一円玉を集めてくれる人を「一円ヒーロー」と呼び、一円マン、一円レディ、一円レンジャー、一円ステーションの4つのヒーローを募集しました。



【2012年の実績 登録人数：20人（チーム） 募金額：88,016円】
【2012年までの累計 登録人数：857人（チーム） 募金額：9,298,767円】

中国内モンゴル植林

2012年9月に、第8回中国内モンゴル植林ツアーを行いました。9月のツアーでは、大学生からおじいちゃんまで幅広い世代に参加頂き、若い世代にも大地に木を植える喜びや楽しさを伝えることができました。また、2009年4月から植林を開始したウランブハ沙漠では、3年半で沙漠が素晴らしい草原に回復していました。これは、家畜が植林地に入らないように柵を設けたことと、植林により保水力が安定したことが主な要因だと思います。沙漠化は過放牧により自然のバランスが崩れてしまうことで進行しますが、人が自然のお手伝いをする事で、自然が緑を取り戻して行くという希望が今回のツアーでは実感できました。

※24名の方に参加して頂き、約4000本の苗木を植林しました。

■ 中国内モンゴル駐在員の支援

2012年6月から9月の4ヶ月間、植林駐在員が中国内モンゴルに滞在して植林を行い、植林後も水やりなど苗木の管理を行いました。植林駐在員の活動応援企画では、全国各地の28名の方が支援して下さい、資金面で駐在員の活動を支援して頂きました。ワンフェスは、今後も中国内モンゴル植林を継続的に行い、沙漠を森へと変えていくプロジェクトを展開していきます。



東北植林プロジェクト「希望の森モリ大作戦～東北植林編～」(め組 JAPAN との共同企画)

東日本大震災の津波被害が大きかった沿岸地域では、針葉樹の防潮林が倒伏し、流された樹木は後背地に広がる住宅などを巻き込み様々な被害をもたらしました。一方、防潮堤はその役割を果たせず基盤ごと流されているところも少なくありません。2011年10月横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏が、画期的な構想を打ち出しました。それは「瓦礫を使った森の防潮堤プロジェクト」でした。有害な物を省いた瓦礫を使って土手を築き、深根性、直根性の常緑広葉樹を混植、密植で植林する計画です。それにより、本来の潮害の防護、飛砂・風害の防備を抑えるだけでなく、災害時には津波の速度を和らげたり、人や家屋・家財の流出を防ぎ被害を最小化できることを知りました。この宮脇氏のプロジェクトに賛同し、2012年1月から、東北植林の準備を始め、9月には希望の森モリ大作戦～東北植林編～と名付け、め組 JAPAN と共同企画として活動しています。現時点での復興に向けた取り組みは、生活再建の部分に焦点が置かれていることもあり、森の防潮堤の計画はまだ具体的になっていませんが、実現するためには9000万本以上の苗木が必要になるということで、森の防潮堤づくりに向けて樹木の種を拾い苗木を育てはじめました。また、このプロジェクトを通じて地元へ山に入り、種を取るために母樹を探したり山を散策し自然に触れることで、精神を安定させると同時に、未来の子供達や自分の街の防潮堤のために活動することにより、生きがいに繋がっていくと期待します。



■ 希望の森モリ大作戦 足跡

2012年4月：東北の主木である「タブノキ」の母樹を探すため、沿岸沿いや離島を散策。7～8月：2万粒の種を拾い、1万粒を播種箱にて育成開始。10～12月：石巻周辺に自生しているドングリの母樹を探し、11月下旬から12月にかけて地元の子供達や全国に呼びかけ、種を拾い種まきを実施。お借りしているビニールハウスで2万粒以上の種を育成中です。

■ 間伐プロジェクト

今、日本の森はほったらかしにされ、元気がなくなってしまっている事、それが原因で大雨の時に災害が起きている事、そして、森の元気を取り戻すにはスギやヒノキが元気に育つように間伐をして、森に光を届ける必要がある事を知りました。ワンフェスではこの事実を知り、みんなが出来る間伐方法として NPO 法人「森の蘇り」のきらめ樹間伐を取り入れました。一人でも多くの人に森の現状を伝える事で、森の手入れするリーダーが各地に増えたり、国産材や森で働く方々の支援に興味を持ってもらう「最初の一歩」のきっかけを提供しています。

間伐ツアー報告

2012年5月に、静岡間伐ツアーを開催しました。間伐ツアーでは、NPO 法人「森の蘇り」の指導のもと、日本の森、世界の森の現状と間伐の基礎を学び、実際に森に入ってきらめ樹間伐を実践しました。きらめ樹間伐は、チェーンソーや重機を使わず、ノコギリだけで楽しく間伐することのできるため、子供からおじいさん、おばあさんまで、幅広い年齢の方々に参加して頂き、たくさんの子供達の笑い声が森の中に響きました。また、間伐ツアーは植林ツアー同様、大地と人が繋がりが全国各地の参加者が繋がるキッカケとなり地元へ帰ってからの最初一歩に繋がっています。2013年も、間伐ツアーだけでなく、より多くの人に日本の森、世界の森の現状を知ってもらい、森を守り、蘇らせるためのプロジェクトを進めていきます。

※33名の方に参加して頂き、44本をきらめ樹間伐しました(間伐概算面積550㎡)



静岡間伐 30 代女性

子供達に体験してほしいと思いました。都会の子たちは普段自然に触れる機会が少ないからリフレッシュできるし、環境について考えるよいきっかけになると思います。病んでる人も、自然の中で身体を動かし、深呼吸すれば変化がうまれることでしょう。

静岡間伐 20 代女性

みなさんに会って世界が広がって、でも同時に、目の前にある小さな一歩や小さな喜びがどんなに大切で、しあわせかまた気づくことができました。私も周りの大好きな人や、自然、子供達のために、もっともっと知らないことは勉強して知りたい、できることはもっと実践して、たくさん笑ってみたいです。



内モンゴル植林 20 代男性

このツアーの最も不思議で最も魅力を感じたのは、自分の本質を語り合える環境設定ができていたことです。とにかく、みんな温かい人でした。だから、信じるができます。それぞれのツアーに参加した理由やこれまでの人生を振り返って語り合う時、何も隠さず思った事を言っていました。中には涙ながらに過去を話してくれる人もいたし、みんなの話を聞いて泣いてくれる人もいました。その中で強く感じたのは、特別な人なんて 1 人もいないということです。自分も辛い過去があるし、それを乗り越えようとして頑張っている自負もありましたが、みんな同じです。みんなそれぞれにストーリーがありました。普通の人なんて 1 人もいないし、普通と感ずることが最も差別的なのかもしれません。自分だけが辛いと感じなくなると、人に優しくなれた自分に気づきました。人として大切なことに気づかせていただきました。心を許しあえた仲間へ感謝します。最後、みんなで丸くなって沙漠に祈りの歌をささげている時に、植え終わった木々を見て泣きそうになりました。木を植えることで元気をもらっているのは、本当は地球ではなく自分だと感じました。このツアーに参加して本当に良かったです。こんなに有意義で感動的なツアーは他にないと思います。来年以降も必ず参加します。ありがとうございました。

北海道プロジェクト

MAKE THE HEAVEN は、2011 年の東日本大震災を機に、東北の方々の避難・疎開先として、広大な土地・農地のある北海道へ移転することを決め、北海道洞爺湖に本部を移転して活動を行ってきました。2012 年は、農業プロジェクトの「今日はいい天気だ FARM」が MAKE THE HEAVEN から独立し、無肥料無農薬で野菜を育てて販売し、自家採取して未来の子供達にも安全な野菜が残せるように活動をしています。夏休みには、2011 年に続き、「2012 洞爺バケーション夏」を前半、後半の 2 回に分けて開催し、日本だけでなく海外からも支援頂いて、前半、後半合計で 50 組 138 名の親子にご参加いただきました。

MAKE THE HEAVEN は 2013 年の 5 月末日を持って北海道での活動を終了し、本拠地を神戸に移すことになりました。東日本大震災後、洞爺で農地を探しながら「農地さえあれば移りたい」という東北の農家さん達も同時に探しましたが、地元やふるさとへの思いがあったせいか、移住したいという農家さんは見つかりませんでした。その後、農家さんにとらわれず、放射線量が高い場所から移住したい人達をサポートする為に大きな建物を探し、2012 年の夏からは旅館を借りて、受け入れ態勢を整えるために準備を続けてきましたが、活動継続の可能性を見いだすことができませんでした。カンボジアや植林など、うまく行くプロジェクトは本当に何かに導かれるようにして形になっていきます。しかし、今回の北海道プロジェクトは



そうなりませんでした。この 2 年間、本当にたくさんのお力添えを頂き、活動を応援して下さい、洞爺を含め北海道の皆様、洞爺での活動を楽しみにしてくれていた全国の皆様の期待に応えることが出来ず、本当に申し訳ありません。2 年連続で開催してきた、「洞爺バケーション」は、今年も継続して洞爺で開催して行きますので、またお力を貸して頂けたらと思います。今日まで北海道プロジェクトを応援して下さい皆様へ心より感謝します。ありがとうございます。

※今日はいい天気だ FARM

<http://www.facebook.com/kyouwa.farm>

足あと

- 2011 年 5 月 北海道千歳市協和にて自然農「今日はいい天気だ FARM」開始 * 自給用の野菜や、幻の黒大豆「黒千石」の種まきや宿泊施設の補修改装を行いました。
- 2011 年 7 月 北海道虻田郡洞爺湖町に本部事務所移転 洞爺湖ピクニックツアー開催
- 2011 年 6 月～ 自給用の野菜を順次収穫
- 2011 年 8 月 洞爺バケーション開催
- 2011 年 11 月 黒千石収穫 * 2012 年 12 月から黒千石販売開始
- 2012 年 3 月 「今日はいい天気だ FARM」独立。
- 2012 年 5 月 自給用の自然農業「ありが 108 ファーム」開始
- 2012 年 6 月～ 自給用の野菜を順次収穫
- 2012 年 7.8 月 2012 洞爺バケーション夏開催
- 2013 年 5 月 北海道プロジェクト終了。本部を神戸に移転しました

北海道プロジェクト

2012年事業報告

北海道疎開プロジェクト「2012 洞爺バケーション夏」

2012年夏、第2回となる洞爺バケーション、「2012 洞爺バケーション夏」を開催しました。世界中のみなさんからたくさんの支援を頂いたおかげで、2012年も実現することができました。2011年の東日本大震災による福島原発事故（放射能に関することなど）に対しての具体的な解決策が見つからないまま、1年以上が過ぎました。その状況の中、子供達の将来や、未来の子供達への不安を抱えた方が多くいますが、放射能問題等に対する温度差もあり、悩みを素直に打ち明けられず、心の負担が増えているお母さんたちがいるという現状があります。そこで、2012年も、子供達に最高の夏休みを楽しいてもらい、また、一緒にお母さんたちに希望の明かりを灯してもらいたいという想いで洞爺バケーションを開催いたしました。2011年の洞爺バケーションは保養プログラムとして開催しましたが、2012年の洞爺バケーションは、事故から1年以上過ぎて、世の中の動きや、人の心などが変化している中で、今も震災当時のまま悩みや不安を抱えて生活しているお母さん方が、少しでも心が軽くなったり、今後の生き方を考えるきっかけになるようにと、ワークショップ等の企画を多く盛り込みました。



■「2012洞爺バケーション夏」の実施内容

前年同様、全国及び海外のみなさまからの多額のお金や物資、北海道や洞爺湖町のみなさまにご協力頂いて、とても充実した企画となりました。期間中は、全国からボランティアクルーが集まって運営をサポートして下さいました。また、全国で活躍されているパフォーマーや講演家、セラピストなどの方々も、参加される方の支えになりたいと洞爺湖町まで来て、イベント、ワークショップ等を開催して下さいました。ワークショップ後には、「これからは前を向いて明るく元気よく生きていけそうです、一人ではないことを知りました。」等々の言葉を頂きました。他にも、無料マッサージやバーベキューなどのイベントも開催し、子供達も大人たちも、みんなと一緒に楽しんで、とても素敵な笑顔を見ることができました。お母さんたちから、「子供のはしゃぐ姿や笑顔を久々に見ることが出来ました。」という感想も頂き、最終日には、涙ぐむ子供達もいて、本当に楽しんでくれたんだと実感しました。北海道の大自然の中での期間はきっと、参加されたみなさんにとって貴重なものになったと思います。

* 洞爺バケーション [2回に分けて実施]

前半期間：2012年7月23日～7月31日 51名（大人18名 小人33名）

後半期間：2012年8月4日～8月12日 87名（大人29名 小人58名） 合計138名

啓発事業

ミュージシャンとの契約・MAKE THE HEAVEN 映像部
インターン受け入れ・ツアーやイベントの開催

MAKE THE HEAVEN は、他にも様々な活動を笑い楽しみながら行っています。ジャンルにとらわれる事なく、世の中の素晴らしい人や活動を広めていくサポートをすることで、笑顔や元気や希望を増やしています。2012年は、ロックバンドおかの全国でのライブ活動、様々な映像製作、日本や海外でツアーやイベントなどを実施しました。



啓発事業

ロックバンド おかん 2012 年事業報告

■活動概要

今日本中では、心の病を抱えて自ら生きる事を諦めてしまう人や、明日への希望を見出せない人が増えています。おかんは、「命ある事の素晴らしさ」や「生きている事の幸せ」を感じてほしいという思いを歌にして届けていく事で、日本中に元気や笑顔を増やす活動を行っています。2012 年は、大阪城ホール単独公演が決定し、大阪で400人規模のワンマンライブを実施、東日本大震災を受けての被災地での復興支援活動、2011 年の大阪ワンマンライブのDVD&CD のリリース、そして全国各地での延べ 100 回を超えるライブ活動などを行ってきました。



活動報告

2012 年は、5 月 13 日にニューシングル「絆～ RUN『伴』 TOMO-RROW～」を絵本とセットでリリースし、10 月 20 日には、ライブ DVD & CD「Road to 大阪城ホール第一章～ありがとう～」をリリースしました。また、2013 年 4 月の大阪城ホール単独公演が決定し、4 月 15 日に「ROAD TO 大阪城ホール 第二章～夢の切符～」と銘打ってクレオ大阪北でワンマンライブを開催しました。チケットは完売し、演出面でもこれまでにない最高のライブとなり、ライブ後に行った大阪城ホール単独公演のチケット販売では 1 日で 844 席を販売しました。その後 1 年間、日本各地で精力的に LIVE を行いながら、大阪城ホール単独公演のチケットを販売し続け、2013 年 4 月 8 日、インディーズバンド初となる大阪城ホール単独公演を開催しました。バスツアー企画、チラシやポスターの配布、チケットの販売など、日本中の方々が心から応援し、おかんのために力を合わせて動き続けてくださった結果、大阪城ホール単独公演当日は、6000 名以上の方が日本中から大阪城ホールに集まって下さり、最高の形でおかんの 17 年間の夢を実現することができました。また、翌日の 2013 年 4 月 9 日には、東アジアツアーを開催し見事成功を収めました。5 月からは、ヴォーカル DAI の自叙伝出版記念のトークライブツアー、ギター YOU のソロライブツアーも開催し、バンドでのライブ活動に留まらない新たな活動も始まりました。おかんは、大阪城ホールの単独公演大成功をもって MAKE THE HEAVEN を卒業し、新しいステージへと旅立ちます。新しいステージで日本中に、世界中に、元気を与えられる唄を届けていきますので、今後もおかんのことをよろしくお願いいたします。



「人間のど真ん中は愛やぞ」。いつもてんつくマンが僕たちにしてくれたこの言葉を胸に、目の前に人に幸せな気持ちになってもらえる事を一番大切にしながら、全国各地で唄を届け続けさせて来てもらいました。
その先に辿り着いた 17 年越しの夢の大舞台「大阪城ホール」。ステージ上がったあの瞬間の景色は、僕たちがずっと描き続けて来た景色を遥かに超えていました。暗闇の中で色取り取りのペンライトと共に、大きな大きな「愛」がうねりをなして会場中を渦巻いている。その全てが、今まで繋いで来た一つの出逢い。全身でこらえる涙と共に湧き上がる「ありがとう」。
インディーズバンドか大阪城ホールで単独公演、この前例なき奇跡はまさに MAKE THE HEAVEN の仲間達と掲げて来た「動けば変わる」の証でした。会場に来て下さった 6000 人以上の家族とも言える皆さんと、会場には来なくても全国で応援し続けて下さった皆さんに本当に本当に感謝しています。「また大きくなって帰って来ます！」と大阪城ホールに約束し、僕たちは新たなスタートを切らせて頂きました。これからもおかんは進み続けますので応援よろしくお願いいたします。

ロックバンドおかん メンバー一同



「人間のど真ん中は愛やぞ」。

足あと

- 1996 年 ボーカル DAI、ギター YOU、ベース本東地の 3 人で結成
- 2000 年 当時、バンドの一番のファンだった友人の突然の死をきっかけに、オリジナル楽曲を制作し、ライブ活動を開始
- 2004 年 メンバーチェンジの末、ドラム成を迎えて現在のメンバーに
- 2010 年 5 月 MAKE THE HEAVEN と専属事務所契約
- 同月 神戸最大の無料フェス COMING KOBE に 6 年連続で参加
- 2010 年 7 月 TSUTAYA コーズブランド DVD テーマソングに楽曲「Independent」採用
- 2011 年 3.7.12 月 東日本大震災の被災地で復興支援活動とミニライブを開催
- 2011 年 7 月 「Road to 大阪城ホール第一章 東京公演」を代官山 UNIT にて開催し、約 400 人を動員
- 2011 年 8 月 「Road to 大阪城ホール第一章 大阪公演」を梅田 AKASO にて開催し、約 750 人を動員
- 2011 年 9 月 DVD 付のニューシングル「Independent」をリリースし、Amazon の音楽総合ランキングで 12 位、J-POP ロック部門で 2 位を獲得
- 2011 年 12 月 「心合わせツアー」を全国 14 会場で開催
- 2012 年 4 月 「Road to 大阪城ホール第二章～夢の切符～」をクレオ大阪東にて開催し、約 400 人を動員
- 2012 年 5 月 ニューシングル「絆～ RUN『伴』 TOMO-RROW～」を絵本とセットでリリース
- 2012 年 10 月 ライブ DVD & CD「Road to 大阪城ホール第一章～ありがとう～」をリリース
- 2013 年 4 月 8 日 大阪城ホールで単独公演、おかん LIVE2013「おかん夢叶う時、大阪城ホール」を開催し、6000 名以上を動員
- 2013 年 4 月 9 日～18 日 東アジアツアーを、台湾・香港・マカオ・中国で開催



啓発事業

映像部 2012年事業報告

活動報告

映像部では、「映像」は世の中にある希望をたくさんの人に伝える最高のツールという想いの元に制作しています。伝えたい事をただ真面目に伝えるのではなく、一人でも多くの人を受け取りやすいようにエンターテインメントとして伝えていく事で、世の中に希望や元気、笑顔を増やす活動を行っています。2009年に完成した映画「107+1 ～天国はつくるもの～ Part2」は、これまでに7万人以上を動員し、世の中に希望や元気、笑顔を増やしました。しかし、毎年日本中で病気の方が増え続けていて、多額の医療費(※1)がかかっていることを知り、病気で苦しむ人を少しでも減らす事が出来たらと、2010年7月、映画「107+1 ～天国はつくるもの～ Part2.5(仮)」を製作するために映像部を再発足しました。

2011年は東日本大震災により取材を一時中断していましたが、2012年は活動を再開し、様々な医療関係者の取材を行いました。また、2012年は、希望や笑顔、元気を増やすきっかけとなる様々な分野のスペシャリストをてんつくマンが紹介する「あなたの心をわしづかみ！グッとくる対談DVD」シリーズを5本発売しました。

※1 2011年度の医療費は約37.8兆円(厚生労働省より)、ちなみに同年の税収は約40兆円(財務省より)
※MAKE THE HEAVENの2010年、および2011年の映像部活動報告内に国家予算38兆円という記述がありましたが、正しくは、国家予算の内の税収額が約38兆円の間違いでした。この場を借りて訂正させていただきます。

映像部の2012年制作DVD(販売用) あなたの心をわしづかみ！グッとくる対談DVDシリーズ



映像部のこれまでの映画作品

映画「107+1 ～天国はつくるもの～ Part1」(2003年製作 / 2012年までの動員数: 約14万人)
映画「107+1 ～天国はつくるもの～ Part2」(2009年製作 / 2012年までの動員数: 約7万人)

啓発事業

ツアー・イベント 2012年事業報告

活動概要

たくさんの人と人が繋がり、同じ志を持つ仲間が出来る事で、その後の人生が大きく変わります。MAKE THE HEAVENでは、「1人の100歩よりも100人の1歩」で世界を変えていくために、毎年多くのツアーやイベントを開催し、最高の仲間と出逢える場を提供しています。2012年も、参加した人がただ感動するだけではなく、新たな一歩を踏み出せるツアーやイベントを開催し、多くの出逢いやきっかけを提供する事が出来ました。

げんきのたねまきツアー

2012年10月22日から30日の9日間、西日本で、大切な人にダンスと言葉で想いを伝えるサプライズ企画「げんきのたねまきツアー」を行いました。全国からサプライズの依頼を募集して、依頼者さんとげんきのたねまきメンバー、集まった仲間たちで、依頼者さんが感謝を伝えたい方に「まいどハッピー」というダンスを踊り、その後、日頃伝えられなかった想い「ありがとう」や「大好き」を伝えて頂きました。依頼者さんは、学校の先生が生徒に向けて思いを伝えたり、奥さんから旦那さんへ、友達から大切なご夫婦へ、ファンの方から大好きなバンドメンバーへ、大切な親友にサプライズなど一つひとつが心に残り、思いを伝える事が出来ました。また、この期間以外でも、サプライズの依頼を頂いて、全国で「げんきのたねまき」をさせて頂きました。



カンボジアスタディツアー

「まずは行ってみよう。」「まずはやってみよう。」「きっとその先に何かがあるはず。」を合言葉にカンボジアのキラキラな子供達の笑顔に出逢ってほしいという想いから人生を変えちゃうツアーを、夏と冬の2回行いました。ツアーでは、孤児院やスラムの子供達に会いに行ったり、井戸掘り体験や村でのうるんホームステイをしたり、カンボジアの歴史を学んだりしています。日本では忘れてしまっていた大切な何かを思い出し、笑顔溢れるツアーになっています。

中国植林ツアー

2012年9月に、第8回中国内モンゴル植林ツアーを開催し、24人の方に参加して頂き、約4000本の苗木を植林しました。大学生からおじいちゃんまで幅広い世代に参加頂き、今回のツアーで2009年4月から開始したウランブハ沙漠が草原に回復した様子を見ることができて、自然が緑を取り戻して行くという希望を今回のツアーでは実感できました。

静岡間伐ツアー

2012年5月に、静岡間伐ツアーを開催し、33人の方に参加して頂き、44本をきらめ樹間伐しました。子供からおじいさん、おばあさんまで、幅広い年齢の方々に参加して頂き、たくさんの子供達の笑い声が森の中に響きました。また、間伐ツアーは植林ツアー同様、大地と人が繋がり全国各地の参加者が繋がるキッカケとなり地元へ帰ってからの最初一歩に繋がっています。

2012 洞爺バケーション夏

2012年夏、「2012 洞爺バケーション夏」を、前・後半に分けて開催しました。世界中のみなさんからたくさんの支援を頂き、前半は、51名、後半は、87名、合計138名(大人47名 小人91名)の親子に参加して頂きました。2012年の洞爺バケーションは、子供達には、バーベキューをしたり公園に行ったりして外で思いっきり遊んでもらい、お母さん方には、講演家、セラピストなどの方々のイベントやワークショップを開催して、心のケアや今後の暮らしについて考えられる場を作ることができました。お母さんたちから、「これからは前を向いて明るく元気よく生きていけそうです。」「子供のはしゃぐ姿や笑顔を久々に見ることが出来ました。」という感想も頂き、最終日には、涙ぐむ子供達もいて、本当に楽しんでくれたんだなと実感しました。

MAKE THE HEAVEN GOODS

MAKE THE HEAVENでは、世界中に笑顔が増える様々なグッズを販売しています。商品の売上がプロジェクトの支援に繋がっています。ここでは一部の商品をご紹介します。その他の商品は「web shop 楽喜天」にて販売しています。http://lucky-ten.com/

■ こまっちゃんぐれタオル 定価1,000円(内税) (め組JAPAN)

「め組JAPAN」の寄り添い活動のひとつ「手芸教室」に集うおかあちゃんたちのチーム「おだってばりいで」の手から誕生しました。ここへ集う事が生きがいだったり、みんなとただお喋りしながらチクチクする事に幸せを感じながら、1つ1つ手で縫ってこのタオルは作られています。このタオルの売上はおだってばりいでに渡されています。2012年10月には、開業届けを出し、MAKE THE HEAVEN から独立して活動を始めました。石巻のかあちゃんの手仕事”おだってばりいで” ブログ <http://d.hatena.ne.jp/odatte/>



■ マイ箸&伸びるフォークセット 定価1,575円(内税) (MAKE THE HEAVEN CAMBODIA)

このセットに使われている箸袋は、カンボジアのブレイクラン村やくくま孤児院のおばちゃんや子供達が、心を込めて作っているフェアトレード商品です。この箸袋の売上が村の人たちの生活を助け、孤児院では運営資金となっています。その箸袋とマイ箸、伸びるフォークがセットになっています。伸びるフォークが出来たきっかけは、楽しくマイ箸を広めたいというてんつくマンのひらめきからでした。MAKE THE HEAVENのおすすめグッズです。



■ ワンフェスタオル 定価1,500円(内税) (WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL)

「人と森をつなぐレインボータオル」と名付けられました。このタオルには「虹を架け、森を増やそう!」というメッセージが込められています。このタオルの売上は、苗木の一部になります。このタオルが売れる事で、木が植えられ地球に緑が増えるため、自分で木を植える事が出来なくても、緑が増えるお手伝いが出来ます。



■ 栽培キット「どんぐり丼」 定価1,500円(内税) (WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL)

ワンフェスとめ組JAPANの共同企画「希望の森モリ大作戦~東北植林編~」のために、北海道~北関東の方々にごんぐりの苗木を育てて頂ける栽培キットを用意しました。自宅で育てた苗木を持って、数年後、みんなで被災地に集い一緒に植林するのを楽しみに、このキットを販売しています。詳細：<https://39auto.biz/maketheheaven/regires.php?tno=167>



■ おかんLIVE DVD&CD「Road to 大阪城ホール第1章~ありがとう~」 定価3,000円(内税)

2011年夏、「自分たちのハードルをクリア出来なければ夢はストップ。」という言葉にしがむしゃらに駆け抜けた、あの日の感動が今ここに蘇ります!おかんの17年間の夢、Road to 大阪城ホールの全てが始まった伝説の1日をあなたに贈ります。2時間を超える感動のLIVE映像だけでなく、ライブ音源のCDも付いており、おかん初の13曲入りライブアルバムとしても楽しんでいただけます!



■ 映像部DVD シリーズ 定価3,800円(内税)

■ 対談DVDシリーズ:今、てんつくマンが日本中の方に伝えたい、全国で活躍するゲストとの夢の対談DVDです。尾崎里美さん、おのころ心平さん、アニキ(筒井正浩さん)、田中優さん、船越康弘さんの、5種類が販売中で、お得な2本セット、3本セットも用意しています。
■ 西田文郎×てんつくマンDVD「アホは成功の近道」;日本中で夢や想いが実現しまくる最高の一年にするため、2013年1月14日に西田文郎とてんつくマンが語った伝説の講演がDVDになりました。「成功するには?」「幸せになるには?」その答えは、アホであること!質疑応答を交えながら、人生を最高のものにする方法を楽しく分かり易くお伝えします。天まで届くアホになりたい人は必見のDVDです!



■ 逆転本 定価300円(内税)

人生を笑劇的に素敵にする「逆転本」。あなたの幸せをただただ願う”伊達直人”と名乗る男?があなたに届けにきました。素敵な言葉たちが笑いと共にあなたの人生を変えます。つつい使ってしまうネガティブな言葉を面白く言い換えた言葉や、ネガティブな言葉を言った後に付け加えると脳がポジティブになる最高の言葉の数々をお届けします。



■ ちびさん本 定価1,000円(内税)

この本は世の中の孤独感を一つでもなくしたいという思いから生まれました。誰かに愛されてる、守られてる事が分かったら、人は元気になれる。孤独感を減らして、元気と感動を増やす本、それが、ちびさん本「おきもちとどきました」です。そして、この本を販売する事がきっかけで人と人とのつながりが生まれたいなと思い、全国に販売店さんがいます。全国の販売店一覧 <http://minnagasanta.com/shop/index2.html>



■ 日めくりカレンダー 定価1,575円(内税)

見ているだけで幸せを運んでくれる大人気のカレンダーです。環境の事を考え、古紙100%、大豆油インク使用と素材にもこだわりました。1ヶ月31日間、毎日変わるてんつくマンの筆文字と、ももこちゃんのかわいいイラストが笑顔と元気を与えてくれます。あなたの生まれた日にはどんな言葉が書いているのかな?



■ 著者てんつくマンの書籍。

■ あきらめない生き方 (サンクチュアリ出版) 定価1,470円(内税)

ほんの少しでもいい。動けば、きっと何かが変わる。夢に向かって動き出したいあなたに。自分に自信を持ちたいあなたに。やりたいことを探しているあなたに。数々の壁を乗り越えてきた男、軌保博光だからそこ伝えられる55のメッセージをお届けします。



■ 答 (サンクチュアリ出版) 定価1,575円(内税)

1998年11月から路上に座って筆文字パフォーマンスを続けてきたてんつくマンが、延べ12,000人を前に書いたメッセージの中から、現代に生きる人々が抱える悩みに対して「答」えている48の言葉を選び、その筆文字メッセージと解説的エッセイをつけた1冊です。



■ やさしすぎる君へ (サンクチュアリ出版) 定価1,155円(内税)

路上詩人てんつくマンが10万人に贈り届けた、愛と勇気のメッセージ集です。この本を読んだら自分の事がもっと好きになる、心がすっと軽くなる自分らしくいられる事が幸せなんだって思える1冊です。



■ あんたの神様 (サンマーク出版) 定価1,470円(内税)

映画づくり、海外支援、環境活動などなど…本気で動いた時には、最強のサポーター、ふだんはただのおっさん(女好き)、そんなヘンな神さま=「安永さん」と語った、てんつくマン流人生の歩き方が掲載された1冊です。



■ 感動無き続く人生に興味なし (サンクチュアリ出版) 定価1,260円(内税)

原宿の路上から始まり全国の路上に座り、15万人以上の人にインスピレーションでメッセージを書き綴った、勇気を刺激するてんつくマンの自叙伝。この本は、あなたを魂レベルで刺激する本です。



会員・募金・スポンサー

MAKE THE HEAVEN では、支援の内容に応じて、いろいろなサポート方法を用意しています。応援どうぞよろしくお願いいたします。



MAKE THE HEAVEN 全体のサポート

■ MAKE THE HEAVEN 会員 ■ ■ ■

MAKE THE HEAVEN の会員になる事が出来るスポンサー制度です。頂いたお金は MAKE THE HEAVEN の各プロジェクトの活動費に使わせて頂きます。会員になっていただく事で、活動報告書や定期発行の新聞、メイクザヘブン主催のツアー・イベントの優待などをさせていただきます。

詳細：<https://39auto.biz/maketheheaven/regires.php?tno=180>

■ エレファントスポンサー ■ ■ ■

MAKE THE HEAVEN が出版している、ちびさん本の販売店になる事が出来るスポンサー制度です。頂いたお金は MAKE THE HEAVEN の各プロジェクトの活動費に使わせて頂きます。スポンサーのコースに応じて、ちびさん本のプレゼントや、卸値の割引があります。

詳細：<http://www.maketheheaven.com/erefant/>

■ 天国はつくるもの基金 ■ ■ ■

全体をサポートして頂く募金制度です。2012 年は、主に東日本大震災復興支援プロジェクト「め組 JAPAN」への支援金をお預かりし、復興支援活動費に使わせて頂きました。これからも、お預かりしたお金は MAKE THE HEAVEN の活動費及び、め組 JAPAN の復興支援活動費に使わせて頂きます。

詳細：http://maketheheaven.com/megumijapan/?page_id=16

■ ワンフェス賛同スポンサー ■ ■ ■

MAKE THE HEAVEN の植林・間伐活動プロジェクト「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL (以下ワンフェス)」のスポンサー制度です。頂いたお金はワンフェスの活動運営費に使わせて頂きます。スポンサーのコースに応じて、ホームページでの広告掲載、記念グッズプレゼントの他、ワンフェスが行った植林・間伐地に設置する記念看板にお名前を入れさせていただきます。

詳細：<http://www.wonderful-world-syokurin.org/entry/?section=2>

■ 一円募金 ■ ■ ■

ワンフェスが行っている一円玉の募金制度です。集まった募金は、ワンフェスが行っている植林活動の苗木代に使わせて頂いています。

詳細：<http://www.wonderful-world-syokurin.org/entry/?section=1>

植林・間伐事業

東北支援プロジェクト

植林・間伐事業

■ 森モリオーナー ■ ■ ■

ワンフェスとめ組 JAPAN の共同企画「希望の森モリ大作戦～東北植林編～」のオーナー制度です。遠く被災地から離れている人も想いを一つにして、あなたに変わりワンフェスで苗木を育てます。「被災地復興の力になりたい」「東北に行けないけど、想いはずっと一緒！を伝えたい」「東北の沿岸にでっかい希望の森を作るお手伝いをしたい」という方に最適です。

詳細：<https://39auto.biz/maketheheaven/regires.php?tno=168>

■ パパママ大作戦！カンボジア奨学金 ■ ■ ■

学校に通えないカンボジアの子供達へ奨学金を贈る、教育里親の支援制度です。1口（1万円）で1人の子供が、1年間学校に通う事が出来ます。サポートして下さった方に、ご支援頂く我が子（奨学生）の写真付き報告書（奨学金証書）や、カンボジアの我が子本人から手紙が届きます。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/O2ppmm/O1pm/>

■ くっくま孤児院 ■ ■ ■

笑顔あふれるくっくま孤児院の子供達を応援する支援制度です。くっくまファミリーとして、お父さんコース・お母さんコース等があり、サポートして下さった方には、子供達からお手紙や絵が届きます。

詳細：<http://www.maketheheaven.com/cambodia/ccmha/index.html>

■ カンボジア支援 ■ ■ ■

カンボジアのスラムや孤児院で生活する子供達の生活全般を支援する制度です。また、バサックスラムの子供達に1ヶ月分のお米とおかずを支援する、「米米マン」「おかずマン」という制度もあり、支援して頂いた方々のお名前を HP に掲載させていただきます。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/O5kikin/2bokin.html>

■ 学校建築 ■ ■ ■

学校の無い村に公立の小学校を建築したり、雨風が入る校舎の建て替えをしたりする支援制度です。企業や団体のお名前を校舎に書いて、子供達全員と開校式を行います。建築後も、子供達と温かい交流が出来ます。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/>

■ 映画製作サポート基金 ■ ■ ■

NPO 法人 MAKE THE HEAVEN が現在製作している映画、「107+1 ～天国はつくるもの～ Part2.5 (仮)」のスポンサー制度です。頂いたお金は全額、映画制作費に使わせて頂きます。一口（5,000 円）ごとに1枚ずつ、現在映画制作のために取材している方々のインタビュー映像（非売品）をプレゼントさせていただきます。

詳細：<http://maketheheaven.com/eizou/>

啓発事業

2012年 会計報告

収支計算書

2012年1月1日～2012年12月31日

収入の部

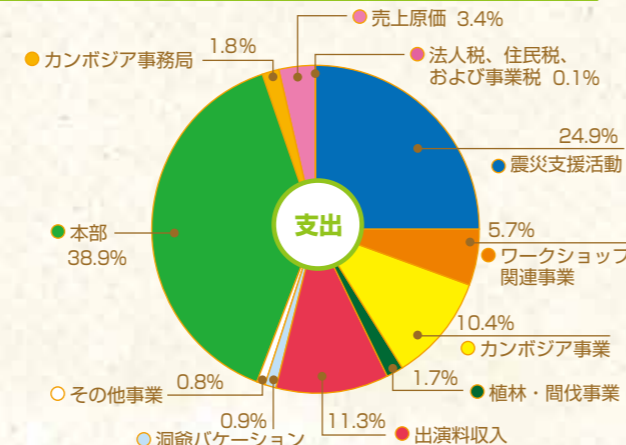
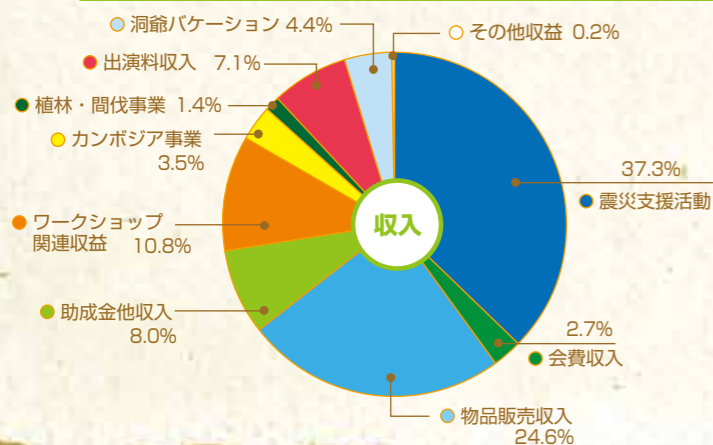
(単位：円)

1. 事業収入	ワークショップ関連収益	11,700,599	29,732,561
	カンボジア事業	3,789,920	
	植林・間伐事業	1,486,438	
	出演料収入	7,696,025	
	洞爺バケーション	4,814,515	
	その他収益	245,064	
2. 会費収入 ※注1			2,939,647
3. 寄付金収入 ※注2			40,501,243
4. 物品販売収入			26,675,102
5. 助成金他収入			8,734,709
当期収入合計			108,583,262
前期繰越収支差額			50,212,315
収入合計			158,795,577

支出の部

(単位：円)

1. 事業費	震災支援活動	30,857,265	69,088,628
	ワークショップ関連事業	7,046,055	
	カンボジア事業	12,937,104	
	植林・間伐事業	2,118,968	
	出演料収入	13,988,156	
	洞爺バケーション	1,090,740	
	その他事業	1,050,340	
2. 管理費 ※注4	本部	48,202,158	50,465,058
	カンボジア事務局	2,262,900	
3. 為替換算差 3. 売上原価			4,272,005
当期支出合計			123,825,691
法人税、住民税、および事業税			69,800
営業外収益			884,868
当期収支差額			(14,427,361)
次期繰越収支差額			34,969,886



貸借対照表

2012年12月31日現在

資産の部

(単位：円)

流動資産	現金預金	29,068,253
	売掛金	921,440
	商品	2,477,299
	仮払金	185,000
	前払費用	160,000
	未収入金	305,608
	未収還付法人税等	1,121
流動資産合計		33,118,721
固定資産	土地	3,000,000
	車両運搬具	893,488
	工具器具備品	309,493
	敷金	320,000
固定資産合計		4,522,981
資産合計		37,641,702

負債の部

(単位：円)

流動負債	買掛金	487,565
	未払金	293,603
	未払法人税等	69,431
	預り金	488,601
	仮受金	517,548
流動負債合計		1,856,748
負債合計		1,856,748

正味財産合計

(単位：円)

	前期繰越正味財産	50,212,315
	当期正味財産増加額	△14,427,361
正味財産合計		35,784,954
負債及び正味財産合計		37,641,702

注1 会費収入内訳

(単位：円)

正会員	250,000
賛助会員	600,000
マンスリーサポーター	16,000
会費収入計	866,000

注2 寄付金収入内訳

(単位：円)

メイクザヘブン本部	7,362,882
げんきのたね夢楽	5,614,838
映画製作	5,590,409
植林・間伐活動	3,352,288
一円募金(苗木代)	3,102,179
キッズエール基金	1,260,000
パパママ大作戦	5,060,124
まいど大作戦	3,875,000
御縁募金	8,625,329
学校建築	10,136,514
カンボジア支援	8,532,260
寄付金収入計	62,511,823

注3 その他収入内訳

(単位：円)

発送等手数料収入	3,015,047
出向負担金収入	1,030,000
その他収入	3,655,095
その他収入計	7,700,142

注4 管理費内訳

(単位：円)

人件費	16,351,707
運送費	3,845,981
商品仕入高	3,465,085
印刷製本費	1,562,221
旅費交通費	1,455,267
支払手数料	1,350,449
支払報酬	776,363
その他	3,792,847
管理費計	32,599,920

監査報告書

特定非営利活動法人 MAKE THE HEAVEN の2010年度決算について、事業は適切に実施され、また、収支計算書及び貸借対照表は、経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認めます。

2011年 3月 10日

監事 二瓶 剛

おひる お茶屋 おひる おひる



NPO 法人 **MAKE THE HEAVEN**

651-1145 兵庫県神戸市北区惣山町 1 丁目 14-1

tel/fax:078-201-7104 mail:info@maketheheaven.com

<http://maketheheaven.com/>